

カトリック河原町教会だより

2019年1・2月

主とともに歩む 新たな一年を



「医者が必要とするのは、
丈夫な人ではなく病人である。
『わたしが求めるのは憐れみであって、
いけにえではない』とは
どういう意味か、行って学びなさい。
わたしが来たのは、
正しい人を招くためではなく、
罪人を招くためである。」
(マタイ9章12-13節)

2019年度 新役員

どうぞよろしく
お願いいたします



北村 進
(典礼部留任)



西川 加之子
(教育部新任)



村井 政一
(財務部新任)



羽田野 朱美
(施設管理部留任)



風間 規男
(広報部新任)

見たことのない街へ ～ウディタウンと『ヘブライ人への手紙』～

『ヘブライ人への手紙』は、「憧れの場所にやっと着いた!」という隠喩をひらめかしながら、私達の魂を目覚めさせます。その憧れの場所についてはこう語ります。

人は故郷の街を求めています。
昔旅立った街ではなくて、遙かな天の街を。

(11章13-16節参照)

私は見たことのない街を歩くのが好きで、かつては津や大垣に通いつめました。今は公園都市に夢中ですが、新開地から曲がりくねったでこぼこの坂道を登り続ける電車に延々と揺られてたどり着くウディタウン中央駅。「やっと着いた!」という感慨もひとしおです。

人は皆、自分の故郷と今まで歩いてきた道を映した「救いの街」を心の中に作り上げています。ところが、この『ヘブライ人への手紙』は、私達にはどうも思い描くことができないような不思議な「救いの街」を建て、強引にも私達をその街へと引きこむのです。

伝統も習慣も私達とは大いに異なる古代ヘブライ人への手紙だけあって、この街の中で私達はさんざん迷い続けますが、やがて、この街には誰もが憧れる中央駅があることを知ります。福音書だったら「神の国」「永遠の命」と呼ばれるだろうその駅は、この手紙だと、「カナン」だったり、「幕屋」だったり、「今日」だったり、「天空」だったり……。初めて京都を旅する人さえ、「しまった! 西院とは西大路四条のことだったのか!」と嘆息しますが、この街の意地悪地名は京都を凌駕しています。

洛東ブロック担当 菅原 友明 神父

憧れの中央駅への交通機関も一筋縄には行かなくて、メルキゼデク、垂れ幕、大空、契約、血、信仰、御子……。 「やられた! 伏見桃山と桃山御陵前は同じ駅だったのか! 近鉄で簡単に来られたんだ!」と悔しがる破目になるのも、見たことのない街を歩く旅の一興です。

聖典は「シンボルの森」と言われますが、私の独断では、この『ヘブライ人への手紙』は「森」ではなくて、絶対に「街」です。たおやかで美しい自然の森ではなくて、人間がぎこちなく建てた人工の街なのです。「シンボル(象徴)の森」というより「メタファー(隠喩)の街」であって、しかもその隠喩が、私達には「変わった怪しい教え」に見えて仕方ありません。でも、そんな私達の不安をよそに、この手紙は自信満々と切り切ります。

変わった怪しい教えに惑わされてはいけません。

キリストは昨日も今日も永遠に変わらない方です!

(13章8-9節参照)

皆様も、この見たことのない街を歩いてみませんか? ご自分の「救いの街」に、知らなかった道路や地下鉄があるのを発見して、「しまった!」「やられた!」を繰り返しながら、いつか遙かな天空のウディタウンにたどり着き、「やっと着いた!」を満喫しましょう。



待降節黙想会



2018年12月1日(土)10時から、ユン・サンホ神父指導の下「待つ」をテーマに、待降節黙想会が行われました。午前・午後それぞれ約1時間の講話があり、その後、個人黙想とゆるしの秘跡の時間をもたれました。ご降誕を待つ静けさの中、黙想会はミサで締めくくられました。

1. 講話(午前)

待降節を示すアドヴェントは「到着」の意味で、神様が私たちを訪れ、共にいてくださることを思い起こす時です。「恵(ご降誕の喜びと平和)」を受けるために、準備しましょう。パウロの言うとおりに、信仰は訓練です。私たちは何のために忙しいのでしょうか。社会に流されたまま何も意識せず、信者としてのアイデンティティを失って、食べるためにだけ生きていないのでしょうか。イエス様が、貧しい幼子の姿で来られたのは、なぜでしょう。小さく弱くされた人々の中に、イエス様を見て、私たちが許され愛されたものであることを、愛と正義の実践をもって伝えなくてはなりません。羊飼いたちは寒い牧場で天使を見ました。マリアもヨゼフも外にいます。東方の博士たちも長い旅をしてイエス様を見つけます。みんな神様のために外にいるのです。私たちが変われることを信じ、今までの自分から外へ出て、イエス様に出会いましょう。



2. 講話(午後)

十字架には、「バスタゼイン(抱く)*」の意味があります。母(マリア)が、子(イエス)を抱くように十字架を受け入れましょう。本当の喜びに気付くことが、待降節の目的です。砂漠を旅するキャラバン(隊商)は、一番遅いラクダに歩みを合わせます。天国へ向かう旅はどうでしょう。自分一人が速く進んでも、そこには何もありません。天国の扉は、一番遅くて弱い人のそばにあるのです。私たちは天国への巡礼者です。自分を入れたカバン(過去・限界・可能性)を用意して、案内人(信じ、分かち合える共同体)と、信仰(確信)と共に出発しましょう。

(講話要約：広報部員)

*十字架を担がれたという単語は、バスタゼインという言葉で、元の意味は「抱く」(母が子供を抱く時や、赤ちゃんに乳を飲ませる時の姿)です。十字架は担ぐのではなく、宝を抱きかかえるように「抱く」のです。私たちの幼子イエス様を、大事に抱きかかえてあげる聖誕をむかえましょう。

(解説：ユン・サンホ神父)



クリスマスチャリティーコンサート ～西日本豪雨災害復興支援～

12月16日(日)14時半より、京都聖マリア教会のハンドベルクワイヤの皆様による演奏、河原町教会聖歌隊の合唱、オルガニスト2名による演奏、ノートルダム学院小学校合唱クラブの子どもたちの合唱が披露されました。コンサートの売上金は、広島教区・高松教区を通して「西日本豪雨災害復興支援金」として贈られます。たくさんのご来場に感謝いたします。



桑山彩子さんと上間基枝さん



京都聖マリア教会 ハンドベルクワイヤ



ノートルダム学院小学校合唱クラブ



聖歌隊、来場者も子どもたちと共に歌う

主の御降誕おめでとうございます



24日 降誕夜半ミサ

12月24日(月)、18時半より毎年恒例のクリスマス市民の集いが開催されました。その後21時より大塚司教司式の主の降誕夜半ミサが、翌25日(火)は7時・10時半に日本語、13時に英語で降誕ミサがささげられました。多くの人が集って共に祈り、主の降誕を祝って喜びを分かち合いました。



都の聖母とリース



祭壇前のクリスマス飾り



クリスマス市民の集い

中高生会 秋の遠足 ～国立民族学博物館～

中高生会では、10月28日に万博記念公園へ出かけました。

さわやかな秋晴れのこの日、2名の中学生と3名のリーダーは、まず、茨木教会の主日のミサに与りました。茨木教会では、バザーをされており、

一行も少しの時間バザーに参加させていただきました。そのあと、モノレールで万博記念公園へ向かい、国立民族学博物館を見学しました。楽しく実り豊かな遠足の日をいただいた恵みに、感謝いたします。(教育部/奥埜さと子)

※発行日の都合によりご報告が遅くなりました。(編集委員)



七五三おめでとうございます ～健やかな成長を願って～

11月11日(日)10時半のミサで、七五三のお祝いとして子どもたちがユン神父から祝福を受けました。

子どもたちにメダイと千歳飴が手渡され、共に祈り、喜びを分かち合いました。

豊かなお恵みがありますように！



◇ 2019年2月～3月の行事予定 ◇(予定は変更になる場合があります)

★2月半ばより地下改修、聖堂免震、新会館建設(前庭)の順で改築工事が始まります。

月	日	曜日	行 事 予 定
2	2	土	[主の奉献]
	3	日	[福者ユスト高山右近殉教者] 評議会2月例会10:30ミサ後
	5	火	[日本26聖人殉教者]
	10	日	[年間第5主日] 26聖人殉教者顕彰ミサ(西陣教会)14:00
	11	月	[ルルドの聖母] 世界病者の日
	17	日	[年間第6主日]
	24	日	[年間第7主日]
3	3	日	[年間第8主日] 評議会3月例会10:30ミサ後
	6	水	[灰の水曜日] (大斎・小斎) 四旬節愛の献金(四旬節中)
	10	日	[四旬節第1主日] 洗礼志願式10:30ミサ ブロック四旬節黙想会(山科教会)
	17	日	[四旬節第2主日] [日本の信徒発見の聖母] 一場神父霊名(オスカル・ロメロ3/24記念日)のお祝い 7:00ミサ
	19	火	[聖ヨセフ]
	24	日	[四旬節第3主日]
	25	月	[神のお告げ]
	26	火	～28(木) 教区小学生侍者合宿
	28	木	召命祈願ミサ(河原町教会)11:00
	31	日	[四旬節第4主日] 教会美化デー

「ザカリアの賛歌」

ほめたたえよ、イスラエルの神である主を。

主はその民を訪れて解放し、

我らのために救いの角を、

僕ダビデの家から起こされた。

昔から聖なる預言者たちの口を通して語られたとおりに。

それは、我らの敵、

すべて我らを憎む者の手からの救い。

主は我らの先祖を憐れみ、

その聖なる契約を覚えていてくださる。

これは我らの父アブラハムに立てられた誓い。

こうして我らは、

敵の手から救われ、

恐れなく主に仕える、

生涯、主の御前に清く正しく。

幼子よ、お前はいと高き方の預言者と呼ばれる。

主に先立って行き、その道を整え、

主の民に罪の赦しによる救いを知らせるからである。

これは我らの神の憐れみの心による。

この憐れみによって、高い所からあけぼのの光が我らを訪れ、

暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、

我らの歩みを平和の道に導く。



(ルカ 1章68-79節)

河原町教会 ミサの時間

日曜日 (主日のミサ)

7:00

10:30

*英語ミサ 12:00 (第2・4週)

月曜日 6:30

火曜日 6:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 18:30

土曜日 6:30 18:30

(主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F集会室)

水曜日15:30 一場 修 神父

木曜日19:00 一場 修 神父

金曜日11:00 一場 修 神父

金曜日19:15 村上 透磨 神父

水曜日10:30 [洗礼準備講座] ユン・サンホ神父

木曜日10:30 " ユン・サンホ神父

金曜日17:30 " 菅原 友明神父

土曜日11:00 " 菅原 友明神父

土曜日17:00 " 菅原 友明神父

※洗礼準備講座をご希望の方は教会事務室まで

◇洛東ブロック信徒養成講座◇

【河原町教会】 第1土曜日19:30～20:15

菅原 友明神父

【伏見教会】 毎火曜日10:00ミサ後～11:30

ユン・サンホ神父

毎木曜日14:00 菅原 友明神父

【桃山教会】 毎火曜日15:00 菅原 友明神父

【山科教会】 毎火曜日10:00 一場 修 神父

◇南部地区信徒養成講座◇

(6F会議室/毎月1回水曜日)

大塚 乾隆神父「典礼を学ぶ」

1月9日・2月13日・3月13日

13:30～14:50

◇『ラウダート・シ』読書会◇

(1F集会室/毎月2回 第2・4木曜日)

14:00～15:30

指導: Sr. メリー・レベッカ・我部

◇主日の福音を読む集い◇

(3F・301号室)

毎週日曜日9:30～10:15

カトリック河原町教会だより 2019.1・2 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 担当司祭: 一場 修

TEL: 075-231-4785 FAX: 075-211-8021 URL: <http://CatholicKawaramachi.Kyoto>